

東京都議会議員 都民ファーストの会東京都議団 幹事長

増子 ますこ ひろき

## 令和4年 第一回東京都議会定例会報告

## 増子都議、予算議会で代表質問に立つ

増子都議は、令和4年第一回東京都議会定例会において、都民ファーストの会東京都議団を代表して小池知事に対し、70問にも及ぶ本会議としては最大級の質問を行いました。その一部を報告します。なお今議会には令和4年度予算案が提出されており、その内容は私たちの要望の多くが実現しています。

令和4年度予算案は、感染症・気候危機の克服、サステナブル・リカバリーの推進、構造改革、オリパラ大会レガシーの活用などをテーマとして掲げ、一般会計は過去最大の約7兆8010億円（全会計では約15兆3939億円）規模となっています。都税収入は前年度に比べて11.6%増と3年ぶりのプラスとなりましたが、コロナ禍の影響が長期化する中、都財政の見通しは決して楽観できるものではありません。その中でも、事業評価による約1,117億円の財源確保や、基金や

ESG債を含む都債の戦略的活用等により財源を確保した上で、新型コロナ対策の強化や東京の未来に向けた取組が事業化されており、私たちが常に求めてきた「賢い支出」の観点からも極めて意義深いものと考えています。

喫緊の課題である新型コロナ対策については、私たちの約70回にも及ぶ要望を受け、これまで幾度となく機動的な補正予算が編成されてきました。状況の変化に即応した対応を引き続き求めて参ります。

## 代表質問の主な内容

## 1 中小企業の資金繰り支援について

**Q** 都内中小企業の資金繰りを支えるため、借り換え融資も含めた新たな制度融資の実施や、企業の成長を促す支援の拡充など、金融支援の更なる強化を図っていくべきと考えるがどうか？

**A** 中小企業の事業継続を支援するため、昨年度の制度融資による実質無利子の資金を利用した事業者を対象に、新たな借り換えメニューを創設し、借入金8千万円までは、信用保証料の全額を補助するとともに、金融機関に借り換え等への柔軟な対応を要請する。一方で、将来の成長を見据え、DXやSDGS等に関連した事業展開に必要な資金ニーズに対応する制度融資メニューを充実させる。

## 2 子どもやシニアのスポーツ振興について

**Q** コロナ禍において、外出や運動の機会が減り、子どもたちやシニアの運動不足や体力低下が深刻化している。そうした中で、スポーツジム等と連携した取り組みや安全、健康に外遊びをするための取り組みを推進していくべきかと思うがどうか？

**A** スポーツジム事業者のノウハウ等を活用して、訴求力の高い動画を作成するとともに、SNS等を活用した効果的な広報を実施する。

また、子どもたちを引き付ける動画を作成し、子ども同士や家族が外遊びを楽しむきっかけをつくる。

## 3 都営地下鉄駅での授乳室について

**Q** これまで子育て応援車両やベビーカーを折りたたまずに乗降できるバスの導入など様々な取り組みを提言してきた。子育て支援を推進するうえで、利用者の多い駅には気軽に利用できる授乳室を設けるべきと考えるがどうか？

**A** 授乳室の設置にあたっては、駅構内という限られた空間の中で、場所の確保や給排水設備の整備などが必要で、こうした課題を踏まえ、駅の改良工事に併せた授乳室の設置や、ツーリストインフォメーションセンター等、既存施設内でのスペース確保について検討し、お子様連れをはじめ、誰もが安心して利用できる環境づくりを進める。

## 4 家事のためのスマート家電購入支援について

**Q** スマート家電（デジタル家電）の購入支援など、とうきょうママパパ応援事業を通じた、産後ケア支援をこれまで以上に強化すべきと考えるがどうか？

**A** コロナ禍において活動可能な人材が十分確保できない、また家の中に他者を招き入れることに不安を抱く家庭があるなど、サポーターの活動が困難な場合がある。そのため来年度は、サポーターの利用が難しい家庭に対し、家事時間の短縮による負担軽減を図れるよう、スマート家電等の家事支援用品の購入を支援する。

## 5 女性の就業支援について

**Q** コロナ禍において、解雇や雇止めなどにより女性の就労に大きな影響が出ている。女性が抱えるこうした実情に寄り添った就業相談やスキルの習得に向けた支援を、地域において受けられるようにするなど、女性の再就職支援を強化すべきと考えるがどうか？

**A** 女性の再就職の促進を図るため、就職活動のノウハウを提供するセミナーと就業相談会をセットにした支援イベントや、実践的なデジタルスキルを学ぶ講習を新たに実施し、シングルマザーに対しては、専門のカウンセリング窓口を設置し、柔軟な働き方が可能な企業の求人を開拓してマッチングを行うとともに、オンラインによる職業訓練を通じてキャリア形成に向けた資格取得を支援していく。

## 6 DXに対応したデジタル人材の育成について

**Q** 今後はデジタル人材育成のための職業訓練やマッチングによる求職者支援を一層拡充するとともに、中小企業における従業員のデジタル技術の習得支援などを通じて、都内産業のDXを強力に後押しすべきと考えるがどうか？

**A** 実践的なデジタルスキルを習得する職業訓練と再就職支援を一体的に実施する事業を拡充する。さらに中小企業のリスキングの促進に向けて、デジタル教育の計画づくりからその実施までを、専門家が伴走型でサポートする取り組みや、従業員が社外でDXの講習を受ける費用等の助成を新たに開始する。

## 7 私立専修学校の支援について

**Q** 実践的な職業教育デジタルスキル取得やリカレント教育等を担う専修学校等への社会的な期待は高まっており、職業実践専門課程の強化をはじめ、私立専修学校への支援をさらに拡充すべきと考えるがどうか？

**A** これまでの認定校や認定課程数の増加を踏まえ、企業等と連携した、より実践的な職業訓練の更なる充実や教育環境の向上に向けて補助を拡充し、専門人材の育成が進むよう私立専修学校への支援に努める。

## 8 高齢者向けスマホ利用及び啓発事業について

**Q** 先の定例会で、伴走型支援による取り組みの強化を求めた。今後はすべてのシニア世代がデジタル化の恩恵を享受して生き生きと暮らせるよう、デジタルデバインド（情報格差）の解消に一層努めるべきと考えるがどうか？

**A** 1万5千人以上のサポートを目標に、新たに「東京スマホサポーター」認証制度を開始する。また高齢者など誰もが使いやすく質の高いデジタルサービスの提供に向け、サービスの開発、運用に携わるすべての職員等が遵守すべき行動指針の策定を推進する。

## 9 介護人材の確保について

**Q** 介護人材の確保は喫緊の課題。介護職員の宿舎借り上げ支援の大幅な拡大に加え、今後は介護職員の処遇改善等を一層支援するとともに、他業界からの転職者の支援に注力し、介護人材を確保すべきと考えるがどうか？

**A** 宿舎借り上げの対象を、福祉避難所の指定を受けた介護施設等に加え、区市町村と災害協力協定を締結した事業所や、その他の在宅サービス事業所等にも拡大するほか、国による介護職員の処遇改善に対応し、賃金を月額9千円引き上げる。さらに他業界からの転職については、インターンシップから就業、定着までを一貫して支援する。

## 10 町会・自治会支援について

**Q** 町会・自治会を活性化するために、大学やNPOなど他の主体と連携して、ともに地域の課題解決に取り組めるような支援や、デジタルの力を使い、町会・自治会の運営をサポートしていくべきと考えるがどうか？

**A** 「町会・自治会応援キャラバン」を開始し、町会・自治会が企業やNPOなどと連携して、これまででない工夫を取り入れた事業を行えるよう、企画段階から実施までトータルにサポートする。また、イベントの開催日時や役員会の参加確認、災害時の安否確認等、様々な情報を即時に共有できるよう地域交流アプリの導入を支援する。

## 11 アニメを活用した観光振興について

**Q** コンテンツの舞台である土地を訪れる観光行動が注目される中、アニメに関連した新たな観光資源やルートの開拓を進めるべきと考えるがどうか？

**A** アニメの人気作品などをきっかけに有名となった場所を訪れるツアーを行うことで、新しい観光の名所をつくり、旅行者の誘致を図っていく。

## 12 地域の芸術文化団体の活動支援について

**Q** これまで様々な創作活動に対する助成制度など支援の拡充を図ってきたが、今後は芸術文化団体等の要望や地域の実情を踏まえた新たな政策を展開していくべきと考えるがどうか？

**A** さらに多くの芸術文化団体等の活動の後押しができるよう、複数の団体が寄り添い、力を合わせて開催する伝統芸能や音楽、演劇、ライブエンターテインメントなど様々なジャンルのフェスティバルやアートプロジェクトなどに対する助成を新設する。

**増子ひろきプロフィール** 昭和60年衆議院議員秘書、平成3年～17年文京区議会議員（4期）、平成11年第35代文京区議会議員、平成17年～25年東京都議会議員（2期）、平成29年～現在 東京都議会議員（4期目）、都民ファーストの会東京都議団幹事長



**増子ひろき**  
連絡先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-20-5 E-mail mail@masuko.tokyo

◎ご意見をお寄せください